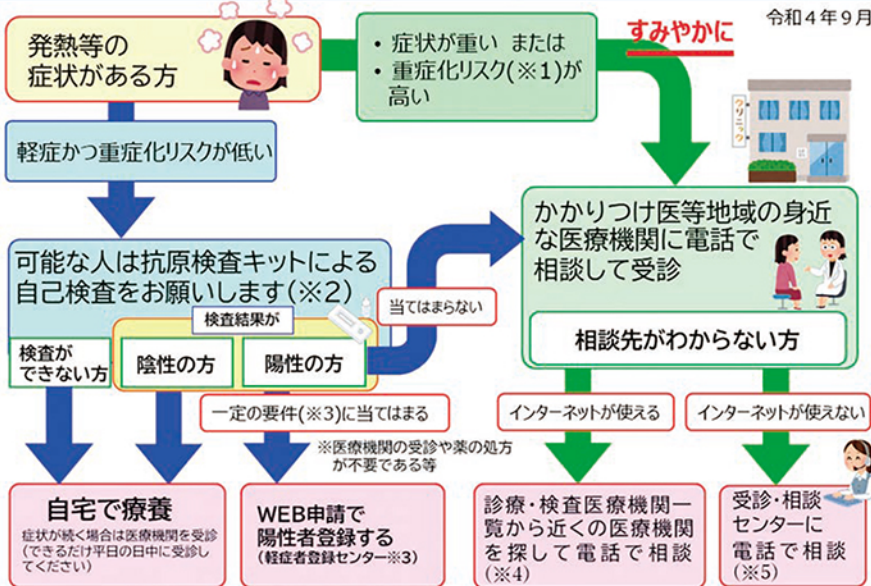


発熱等の症状がある方の対応について<イメージ図>

令和4年9月



陽性が疑われる場合

発熱等の症状がある方

や、検査キットで陽性となった場合は、今後の対応方法について図解で説明します。

陽性者、濃厚接触者の方

陽性者の感染可能期間(周りの人に感染を広げる可能性のある期間)は発症日の2日前から発症日の10日後までです(無症状の場合は検体採取日の2日前から7日後まで)。

療養期間中の外出については、無症状の方や何らかの症状があった方は症状が軽快してから24時間経過後に、マスクを着用するなど自主的な感染予防行動を徹底することを前提に、食料品等の買い出しなど必要最小限の外出を行うことは可能とされています。

ただし、



外出時や人と接する際は短時間とし、移動の際の公共交通機関の利用はお控

えください。

陽性者と接触があった方については、自身の接触状況を確認の上今後の生活における注意点を確認しておきましょう。

① 陽性者と同居の場合

待機期間は、陽性者と最後に接触した日または感染対策を取り始めた日のいずれか遅い方の日を0日目と数え、5日目までです。7日間が経過するまでは、毎日体温測定を行い、健康観察を実施し、行動自粛にご協力ください。

② 陽性者と同居以外で接触があった方

自宅待機等の行動制限はありませんが、食事を一緒にした、マスク無しで長時間会話をした等の接触があった場合は5日間の自宅待機についてご検討ください。

※詳しくは長野県のホームページをご参照ください。